

27年3月30日

新宿区長 へ

法人名 NPO 法人新宿区ウォーキング協会
 所在地 新宿区西早稲田 1-23-14
 けやきハウス早稲田内福本弘方
 (フリガナ) コバヤシマサヒト
 代表者氏名 会長 小林 昌仁

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	紅葉の新宿御苑とまちの晩秋スポット「楽しい出逢いウォーク」
実施日時又は期間	開催日 2014年11月8日
対象者の範囲及び人数	25歳～45歳ぐらいの明るく元気な独身男女
事業内容	ウォーキング:新宿御苑～花園神社～箱根山～穴八幡～新宿 NPO 協働推進センター 約8km 交流会: 新宿 NPO 協働推進センター会議室
具体的な活動状況	ウォーク出発時、参加者を2つのグループに分けて、話し易い雰囲気作りをする。菊花展の御苑内をゆっくり歩く。箱根山に登る頃には、打ち解けた様子だった。 昼食に合わせてゴール。昼食からは、結婚支援センター板本代表理事の場慣れた進行でディスカッション。リピーターの参加者が、場を盛り上げていた。15:00 終了。
事業の成果	参加者からは、普段いかに歩いていないか体験した、足が痛かったが、みんなと一緒にだったので歩けた、歩く飾らないスタイルでの時間は、リラックスした気分で会話が出来て楽しかった、との声を聞いた。 終了後、高田馬場のお店に自主的に声を掛け合って出かける。二次会まで行き、メールアドレスを交換している参加者もいたと、後日聞く。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額	
	団体負担金			21,909 円	
	参加費・資料代等	3,500×22名、2,500×1名(キャンセル者)		79,500 円	
	その他の収入			0 円	
	協働推進基金助成金	助成金交付額		85,000 円	
	計			186,409 円	
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳		
	会議費	5,950 円	借室料 1,450 円	入苑料 4,500 円	
	宣伝費	24,455 円	チラシ印刷代 17,455 円	デザイン料 5,000 円 コピー代 1,500 円 ポスターコピー代 500 円	
	リース費	0 円			
	消耗品費	1,000 円	ゴミ袋		
	謝礼	30,000 円	NPO 法人全国地域結婚支援センター 板本代表理事他 2 名		
	人件費	17,829 円	コース下見 3,000 円×4名=12,000 円 当日引率 3,000 円×9名=27,000 円 計 39,000 円のうち、助成対象事業費の 20%（17,829 円）を計上		
	材料費	2,020 円	コースマップ		
	交通費	3,970 円	コース下見 4名 1,020 円	当日 9名 2,950 円	
	その他諸経費	3,924 円	ハガキ代 1,040 円	切手代他 984 円 荷物運搬費 1,900 円	
助成対象事業費（小計）	89,148 円				
余剰金	25,568 円	85,000 円－（89,148×2/3）＝25,568 円			
助成対象外事業費	71,693 円	昼食・間食代	50,522 円	人件費（助成対象外）	21,171 円
事業総額		186,409 円			

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	参加予定者 30 名に対して 22 名参加。達成率 73%。リピーターも 6 名。交際までの発展については、個人情報の制約もあり追求出来ないが、良い話を待ちたい。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	独身者向けにウォーキングという健康なイメージの婚活行事を当協会が実施したという情報は、小さなものかもしれないが、地道に続ければ、協力者も現れ、やがて効果が出てくると信じている。
費用対効果は適正であったか。	支出合計 160,841 円、参加者 22 名、約 7,300 円/人内 3,500 円は自己分担金、よって 3,800 円/人の支出となった。参加者が多ければ、コストは下がるため、周知方法等を検討したい。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	PR の手法については、この問題に関心の高い団体と交流を深める必要があると思われる。少子化、高齢者社会の問題と一緒に、若者の未婚の問題は重要である。 区内の各機関・団体を集めて協議する場が必要。
理解者や支援者が広がったか。	関心のある各機関・団体をリストアップして、協力を求めるべきだったが、出来なかった。 新宿自己創造研究所も警告を発している。
事務局の執行体制は十分だったか。	行事の規模にもよるが、今回は十分対応出来た。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	財源確保の問題は、当協会の様な非営利の NPO 法人では困難である。しかし、今回の行事は、継続して行うことでその効果が発揮出来るので、助成金に依存することなく開催出来るよう検討していきたい。
その他	

4 活動の成果

*事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
*参加者の意見なども報告してください。

1. 募集チラシ
2. 参加者への連絡
3. コースマップ
4. 参加者名（全国地域結婚支援センターの指示で、名字の一文字を伏せています。住所その他は削除しています。当然写真は写しておりません。）

別紙